

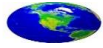
主催：公益財団法人兵庫県高等学校教育振興会

共催：公立大学法人兵庫県立大学

チャレンジ留学講演会実施報告

“Beyond Borders”

心地よい秋晴れの中、県内高校生、保護者並びに学校関係者の皆さんにご来場いただきました。



基調講演「私のチャレンジ～グローバル社会を生き抜く～」

基調講演では、兵庫県立宝塚西高等学校の上本善之先生と兵庫県立武庫荘総合高等学校の山内淳史先生に、「私のチャレンジ～グローバル社会を生き抜く～」と題して、示唆に富んだお話をさせていただきました。上本先生は、大学卒業後、イギリスの大学院で応用言語学と英語教授法を研究し、修士号を取得されました。山内先生は、兵庫県教育委員会から西オーストラリア州へ交換教員として派遣され、現地の小学校や高等学校で日本語教育に携わられました。

上本先生からは、大学院での苦労話をはじめ、豊富な海外滞在経験に裏付けされたお話を伺い、県立学校教員の視点からも、留学の流れや魅力などについて、高校生にわかりやすくお話をさせていただきました。グローバル人材とは「日本人としてのアイデンティティ・国民性を身に付けた人」、また「失敗を恐れず挑戦し、ミスから学習することができる人」と提言されました。

山内先生からは、大学在学中に米国へ短期留学した時の失敗談も含め、交換教員としてオーストラリアでの豊富な海外滞在経験に裏付けされたお話を伺い、県立学校教員の視点からも、国際人について、海外で仕事をする苦労や楽しみについて、高校生にわかりやすくお話をさせていただきました。また、「英語を学ぶだけであれば、国内でもできるので、チャレンジのある留学をしてほしい」と、熱い思いを語っていただきました。

お二人のお話は、高校生のみならず保護者や学校関係者の皆さんにも、良い刺激となりました。



私の考えるグローバル人材とは？ その①

▶ 失敗を恐れず挑戦し、
ミスから学習することができる人



Don't be afraid of making mistakes!

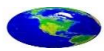
チャレンジのある留学をしてほしい

- ▶ ・英語だけなら日本でも学べる
- ▶ ・気付きの多い日々を過ごしてほしい
- ▶ ・対応力の必要な日々を。
- ▶ ・振り返って良かったと思える経験を！

- ▶ ・実りの多い留学にしてください！！

<基調講演：上本善之先生>

<基調講演：山内淳史先生>



パネル討論会「グローバル社会を生き抜く力とは？」

昨年度に引き続き、来日して6年目のベトナム人留学生のゲンさんに、パネリストとして参加していただきました。ゲンさんは、母国のテレビ番組で、東日本大震災からの復興に共助する日本人の美しい姿に感動し、こんなにも素晴らしい国で勉強したいと即断し、反対するご両親を説得し、日本語も話せないまま、異文化社会に飛び込んだそうです。今は県立大学の経済学部で卒業論文の作成にがんばっているゲンさん、上本先生、山内先生と「グローバル社会を生き抜く力」についてパネル討論会を行いました。



パネル討論会などの様子については、ご多用の中、会場まで足を運んでいただいた兵庫県立芦屋国際中等教育学校の瀬尾幸司校長先生の「校長だより No.53」から、許可を得て掲載させていただきます。ありがとうございました。

10月21日(日)、兵庫県立大学神戸商科キャンパスで開催されました、「チャレンジ留学講演会“グローバル社会を生き抜く”」に行ってきました。

この講演会は、本校生も留学支援の奨学金でお世話になっている兵庫県高等学校教育振興会(兵庫県庁の1号館にあります)の主催で、主に高校生やその保護者に、高校生の時期に限らず、留学を志す気持ちを高めてもらいたいという主旨で行われたものです。

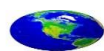
県立高等学校の英語教諭で、イギリスの大学院で TESOL(英語ネイティブではない人に英語を教えるための資格)の修士の学位を取得された先生、兵庫県と西オーストラリア州の交換教員として1年間、西オーストラリアで日本語教育に携わられた先生の2人が基調講演を行い、その後、基調講演をされた2人の先生に県立大のベトナム人留学生を交え、教育振興会の八木係長がコーディネーターをされてのパネルディスカッションが行われました。

プログラムを通して、留学を行うために必要なプロセス、留学を行うのに必要な心構え、留学の魅力といった留学の実際について、留学や海外勤務の経験から語られる具体的な話に、参加者は熱心に耳を傾けていました。さらに、「グローバル人材とは？」という、大きなテーマでも議論がなされていきました。

県立大のベトナムからの留学生が、「18歳で来日し、初めは日本語の力も弱く、コミュニケーションそのものに苦労しましたが、とにかく、日本語で話す機会を増やして日本語を磨き、コミュニケーションをとり、日本人との壁を取り払っていく中で、国は違っても人として同じであると感じることを多く経験したことが留学生としての大きな成果だと思っています。“グローバル人材”というと、何かすごく大変なもののように感じてしましますが、そういうことではなく、英語が話せようと話せまいと、“国は違っても人として同じであると感じることを多く経験”できれば、“グローバル人材”ではないかと思います。」と語っておられたのは非常に印象的でした。

「グローバル人材とは何か」と問われると、グローバル人材の定義はなかなか難しいと言われます。本校は、校訓に“Respect”、“Integration”、“Contribution”を掲げ、互いの言語、文化、個性、考え方を尊重しつつ、同じコミュニティに生きる者としての責任をそれぞれが果たしながら、共通理解を深め、協働していく、更に、そういった態度をもとに学校、社会、世界に貢献できる人材の育成を目指しています。これこそ、まさにグローバル人材の定義そのものであると私は思っています。

短い時間でのパネル討論会でしたが、参加した高校生の皆さんの夢の実現に向けての第一歩につながれば幸いです。瀬尾校長先生も書いてくださっていますが、アンケートにもグエンさんの日本語での発信の重みや真摯な姿に感動したという感想がありました。



兵庫県立大学説明会 ～グローバル人材をめざす国際商経学部～

チャレンジ留学講演会の会場を快く引き受けていただきました兵庫県立大学の説明会が行われました。兵庫県立大学では積極的に国際交流を推進されており、グエンさんのようにたくさんの留学生が学んでいます。国際交流推進担当の松浦主幹から、平成31年4月に開設される国際商経学部国際商経学科について、わかりやすく説明していただきました。詳しくは兵庫県立大学のホームページでご確認ください。

<http://www.u-hyogo.ac.jp/academics/undergraduate/kokusaishoukei/index.html>



会場の提供やパネリストの推薦など、快く協力していただきました兵庫県立大学事務局の皆様、そして兵庫県立宝塚西高等学校、兵庫県立武庫荘総合高等学校の校長先生はじめ関係者の皆様、最後になりましたが、会場まで足を運んでいただきました皆様に、心より感謝を申し上げます。

当会では、今後も引き続き、県下高校生の留学の機運を醸成する事業を促進していきたいと考えています。

Thank you very much for your cooperation.